社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和02年01月28日

計画の名称	海田町公共下水道(防災・安全)　(重点計画)		
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	海田町		
計画の目標	住民の暮らしを守るインフラを再構築するため，公共下水道事業を実施する。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	245	A	220	B	0	C	25	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	10.2	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4	R6
1	下水道による都市浸水対策達成率を，４%(Ｒ２末）から５%(Ｒ６末）に向上させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）	4%	4%	5%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	海田町	直接	海田町	管渠（雨水）	新設	中筋・竹貞雨水幹線他(浸水対策)	雨水管渠実施設計，新設工事	海田町	■	■	■	■	■	200		―
	A07-002	下水道	一般	海田町	直接	海田町	管渠（雨水）	―	海田町雨水管理総合計画策定業務	雨水管理総合計画策定	海田町		■	■			20		―
											小計						220		
											合計						220		

案件番号：

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	海田町	直接	海田町	－	－	海田町内水ハザードマップ作成業務	浸水ハザードマップ	海田町	■					25		－
		ソフト対策である内水ハザードマップを作製することにより，浸水被害地区の防災体制の推進を図る。																	
											小計						25		
											合計						25		

案件番号：

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R02	R03	R04	R05	R06
配分額（a）	30	31	30	15	25
計画別流用増△減額（b）	0	0	0	0	0
交付額（c=a+b）	30	31	30	15	25
前年度からの繰越額（d）	0	18	31	21	15
支払済額（e）	12	7	40	21	15
翌年度繰越額（f）	18	31	21	15	25
うち未契約繰越額(g)	18	31	21	15	25
不用額（h = c+d-e-f）	0	11	0	0	0
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	60	85.71	34.42	41.66	62.5
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	入札中止による未契約				

案件番号：

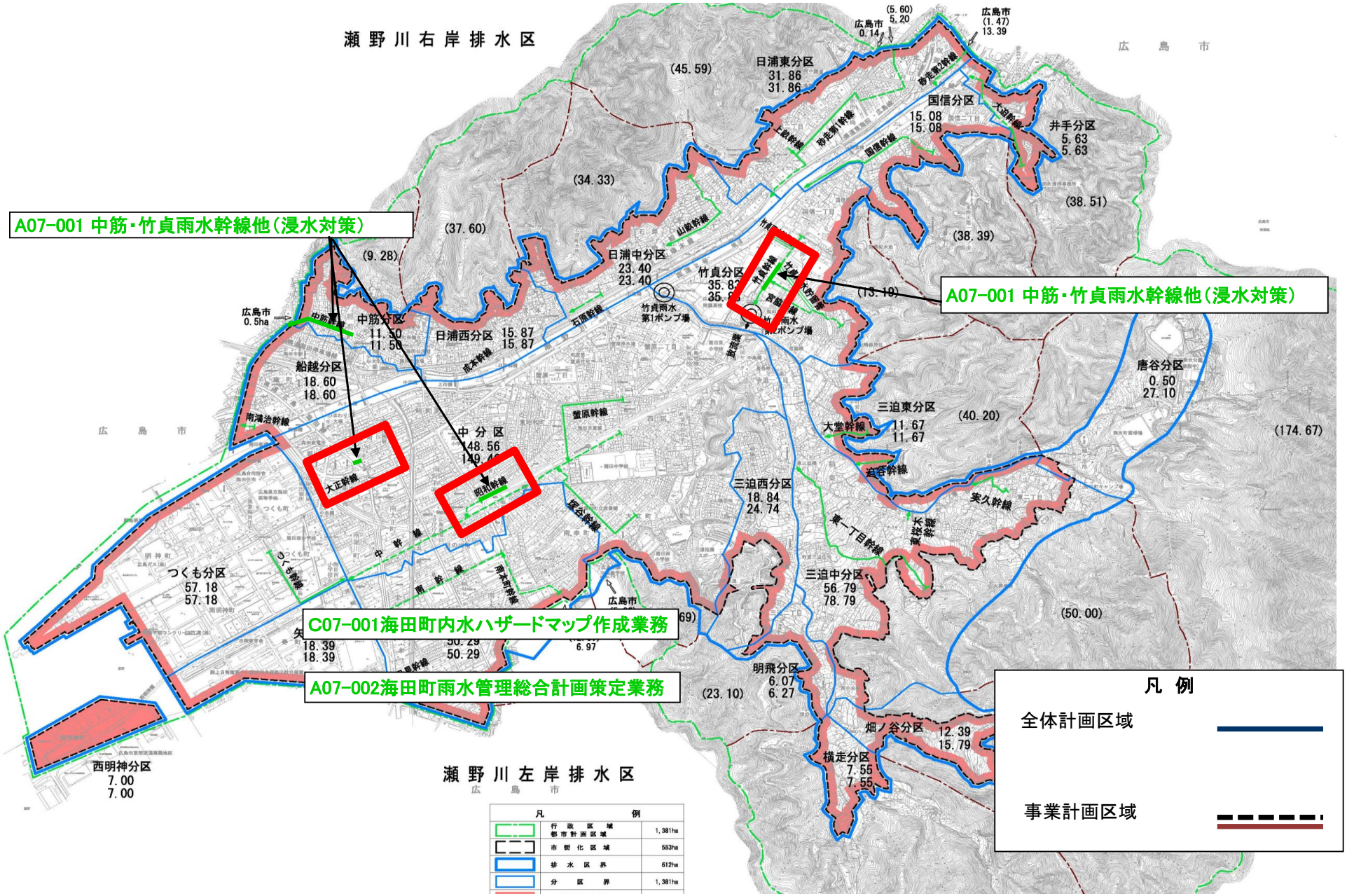
事前評価チェックシート

計画の名称： 海田町公共下水道(防災・安全) (重点計画)

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等　１）基本方針と適合している。	○
I.　目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等　２）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ②目標と事業との関係　１）事業による目標達成の可能性がが高い。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　３）指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　２）他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性　１）計画の具体性など，事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　２）事業実施のための環境整備が図られている。	○

案件番号：

別紙５－２

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	海田町公共下水道（防災・安全）		
計画の期間	令和２年度　～　令和６年度　（5年間）	交付対象	海田町